

# コロナ禍のもと、市民のいのち・暮らしを守る予算を



全議員による予算決算常任委員会

## 3月議会 予算で集中審査

3月16日～3月22日

3月16日から22日まで議長を除く全議員による予算決算常任委員会が開催され、令和3年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党議員団は、コロナ禍のもと新年度予算案が市民のいのちと暮らしを守る予算になっているか、市民の願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言をいたしました。22日の委員会最終日には、小西喜代次議員が反対討論を行いました。凛風会の橋本律子議員が賛成討論を行い、賛成多数で可決すべきものと決しました。26日の本会議最終日に、新年度予算案をはじめ、各議案に対する採決が行われました。

### 一般会計予算案 小西議員が反対討論

新年度予算案は、予算総額396億6千万円で、新型コロナウイルス感染症への対策を講じるとともに、アフターコロナを見据えた予算とされ、対前年度比で増加しています。

予算決算常任委員会では、新型コロナウイルス感染症対策、行政のデジタル化推進事業をはじめとして、部局別に各事業について審査が行われました。

PCR検査についての質疑では、「県で対応すること」の答弁が繰り返されましたが、他の市町でも検査や補助がされており、市独自の検査実施が求められます。

職員の削減については質疑が多くありました。特に会計年度任用職員は事務員や小規模小学校の学校用務員など多くの職種でフルタイムからパートに変更になっています。現場の判断とのことですが、本人の納得と同意、組合の合意が必要です。

#### 【小西議員の反対討論骨子】

- ・アフターコロナを見据えた「新しい豊かさ」を追求するまちづくりを推進する予算とされているが、コロナの収束の見通しが立たないもと、アフターコロナでなく、市民のいのちを守るため、いま求められるのは感染抑止。ワクチンだけでなく、市独自でPCR検査の社会的検査を実施するなど検査戦力を持った取り組みと予算が必要。
- ・コロナ対策としてきめ細かい施策が打ち出されているが、市民の暮らし、営業を守る直接的な対策が行われていない。
- ・コロナ禍のもと、自治体職員の重要な役割が明らかになったが、正規職員の削減が進められており、求められる役割から逆行している。同時に会計年度任用職員のフルタイムからパートタイムへの切り替えが一気に進められた。組合との合意は必要ないとのことだが、コンプライアンスを重視する職場としても早急にあらためるべき。
- ・長年市民から寄せられている小中学校の給食費の負担軽減・無償化、中学卒業までの医療費完全無料化など、予算案には反映されていない。切実な要望に応え、計画的に予算にいかすべき。

### 3・20近畿オンライン演説会



6名の衆院近畿ブロック比例候補  
(左から、官本、たけやま、こくた、こむら、西田、清水の各氏)

**現有2議席から4議席へ  
総選挙での躍進を**

近畿ブロックオンライン演説会が20日開催され、近畿内で2万人以上が視聴しました。日本共産党の志位和夫委員長は演説の中で、「6府県の草の根の力を一つに集め、現有2議席から倍増の4議席を必ず獲得しよう」と力を込めました。

### 新型コロナ ワクチン

集団接種会場  
・水口体育館  
・甲南プラザ  
・信楽開発センター

#### スケジュール

- 3月5日～ 医療従事者接種
- 3月21日 集団接種模擬訓練
- 4月中 65歳以上の方へ接種券郵送、予約受付のコールセンター開設

\*集団接種の開始日などは未定です

## 日本共産党

### 甲賀市議員団ニュース

2021年 3月 28日 第350号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
Tel 83-0765  
Fax 83-0765



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696